

平成 22 年度事業計画について

- 世界的な不況とさらなる東京一極集中は、経済のみならず、自治体の財政難、雇用機会の減少など、地域に深刻な影響を及ぼしている。さらに、国や自治体による大幅な事業見直しは地域の文化に大きなダメージをもたらし、地域文化の画一化・同質化に拍車をかけている。

- グローバルな都市間競争がますます激化する中で、文化による地域の活性化や産業の高付加価値化が日本の国際競争力強化には欠かせない。いまこそ、地域で個性ある文化を育て、低落傾向にある大阪・関西の活力を取り戻さなければならない。平成 22 年 1 月 28 日に当協会が開催した「関西・大阪文化力会議」には、延べ 1000 人を超える参加者が集まり、関西固有の文化が絶滅の危機に瀕しているという喫緊の不安や、市民の文化への関心の高さをあらためて示すものとなった。「文化立都」、すなわち、大阪・関西の文化力向上こそが、当協会の果たすべき使命であり、関西・大阪再生への重点戦略課題である。

- 自立民営化による再スタートを切った大阪 21 世紀協会は、平成 22 年度、事業の選択と集中をはかり、関西・大阪の①「文化力向上」、②「イメージ向上」、③「水都大阪まち育て」の三本に絞り込んだ事業を展開する。当協会がこれまで培ったネットワークとノウハウを活用し、以下の事業を効率的に推進する。

- なお、公益法人制度改革に対応した、協会の体制の検討、および賛助会員の維持・拡大を目ざした活動も引き続き行う。

1. 文化力向上

協会がこれまで培ってきた知的ネットワークを活かし、学ぶ場づくり、人材育成のほか、さらに文化力向上のための課題にとりくむ。

(1) 社学連携

① 21世紀の懐徳堂プロジェクト事業

大学等の研究機関や大阪市と連携し、知的ネットワークの成果を社会に還元していく。具体的には、「大阪大学 21 世紀懐徳堂」との連携、「ナカノシマ大学」への協力、アートアッセンブリー（アーティストを経済界や市民に紹介）、関西社会人大学院連合との連携によるまちづくりのための共同講座の開催など学びの場、発表の場、交流の場づくりを行う。

実施時期 通年

支出 5, 200 千円 収入 480 千円

② 300DOORS (仮称)

昨年度開催した 200 ワークショップ (200DOORS) をさらに発展させ、大阪で活躍する魅力的な人材を講師に迎え、市民が教え・学ぶワークショップ・シティー構想を推進する。また、学生をコーディネーターとして参加させることで、伝統芸能からアート、ファッションなど大阪の生活文化を体験、人材育成にも役立てる。

実施時期 7月～ 8月

実施場所 大阪市立芸術創造館、芝川ビル、中央公会堂 他

支出 3, 500 千円

(2) 関西・大阪文化力会議

文化人・経済界・学界などのオピニオンリーダーやまちづくりで活動している市民・NPO、メセナ関係者による会議を開催し、関西・大阪が抱える課題を抽出・議論することで関西・大阪の文化力向上の方策を探る。

なお、会議で提案された内容の研究や、会議参加者等の交流を図る企画な

どを実施することで会議の成果をより深めるよう取り組む。

実施時期 3月

実施場所 大阪国際会議場 他

支出 8,800千円 収入 2,500千円

(3) 人材育成

①「大阪文化祭賞」

芸術文化活動の奨励及び普及を図るなど文化振興の機運を醸成することを目的とし、大阪府・大阪市とともに、5～6月に大阪府下で行われる公演等を対象に「大阪文化祭」を開催し、参加公演の中から注目すべき成果をあげた個人（または団体）に賞を贈呈する。また、受賞者に対する副賞の授与を検討・実施するとともに受賞者に公演の機会を設けるよう努力する。

実施時期 大阪文化祭 5～6月 贈呈式 8月～9月頃

支出 1,000千円

②後援等

大阪文化の推進に資する団体、行事、個人について後援（後援名義の使用許可、賞状・楯の授与等）を行う。

実施時期 通年

支出 250千円

③「アートストリーム2010」の開催

大阪芸術大学、サントリーミュージアムと連携し、大阪の若いアーティストやクリエイターを発掘し、作品発表の場や出版社・美術館関係者とのビジネスマッチングの場を提供。公募選考したアーティストによる屋外アートマーケット（絵画、イラストなど若手アーティストの作品発表、即売会）等行い、大阪の若いアーティストを世界に発信する。

実施時期 9月～10月月頃

実施場所 サントリーミュージアム

支出 1, 550 千円

④企業メセナ協議会、まちづくり文化団体等との連携

(社) 企業メセナ協議会や、文化に取り組む団体等との連携をはかりその取り組みの紹介や推進をはかる

実施時期 通年

支出 900 千円

2. 関西・大阪のイメージ向上

関西・大阪のイメージ向上につながる、ブランド情報を、立体的・戦略的に編集し、発信する。

(1) 関西空港等公共スペースにおける関西・大阪ブランドの映像発信

関西国際空港や公共スペースなどを活用し、魅力的な関西・大阪紹介映像(景観、季節の風物 他)を情報発信し、地域のイメージ向上をはかる。

また、これらの映像を著作権フリーのライブラリーとして利用拡大をはかる。

実施時期 通年

支出 1, 800 千円 収入 1, 600 千円

(2) コンテンツ制作

大阪が誇る世界文化遺産の伝統芸能や、「夏祭り」などの伝統行事、関西・大阪の魅力的なブランド資源を編集し、映像コンテンツなどの手段で広く発信する。

実施時期 通年

支出 2, 815 千円

(3) WEB放送局の運営

関西・大阪の都市ブランドイメージ向上をめざし、きめ細かな文化情報をタイムリーに発信する。コンテンツとしては大阪のさまざまな芸術・文化活動に関する情報を、動画やブログも交え、幅広く提供する。

実施時期	通年
支出	5, 978千円

(4) ブランド情報誌「OSAKA*文化力」の発行等

協会唯一の紙媒体・定期刊行物として、特にオピニオンリーダーや文化に関心の高い層に向けて、関西・大阪の文化に関する諸課題や、協会の取り組み・活動状況を発信していく。

発行回数	年3回発行	(各12,000部)
支出	9, 150千円	

(5) 御堂筋等におけるバナー展開

御堂筋・長堀通り他の市道の街路灯に掲揚するイベントバナーへの特別協賛企業を募集して、都市景観の向上をはかるとともに自主財源の確保につなげる。

実施時期	通年		
支出	1, 800千円	収入	2, 000千円

(6) 広報活動

21世紀協会の情報をマスコミ等に対して効果的な情報発信を行う。

実施時期	通年
支出	2, 045千円

3. 水都大阪まち育て

「水都大阪」再生をビジョンとして、市民・NPOによるまちづくり、水辺のにぎわいづくりを支援、協力し、水都大阪を発信する。

(1) 「水都大阪」の継続・継承

水都を活用した市民・NPOのまちづくり、水辺のにぎわい創出を推進。具体的には、「平成 OSAKA 天の川伝説」への参画、八軒家浜・中之島界限での賑わいを創出に関する活動への協力により、水都の活性化に貢献する。また、20年度に作成した「水都大阪 再発見クルーズ」ソフトについても引き続き活用の促進を目指す

実施時期 通年

支出 2,600千円

(2) 水上音楽パレード

昨年「水都大阪2009」の最終日に、当協会が開催し好評を博した水上音楽パレードの定着を目指し、第2回目の実施に向けた取り組みを行う。八軒家浜を中心に、大阪市内の川を航行する全船舶によるパレードを実施するほか、高校吹奏楽部による水上マーチング船でキタとミナミを結ぶ。学生吹奏楽の発表の場として、御堂筋パレードにかわる新たな水上の場を提供する。

実施時期 10月～11月頃

支出 6,000千円 収入 2,000千円

(3) 「大阪城サマーフェスティバル2010」

大阪の代表的な歴史的資産である大阪城および上町台地周辺で夏季に開催される様々のイベントを集約、行政、経済団体、民間企業、マスコミ等の各主催者間の連携と情報交換の結節点として活動する。具体的には、各主催者との調整のうえ、共同での広報活動を展開するほか、昨年初めて実施した大阪城西の丸庭園の共同舞台プロジェクト実施に向けた取り組みを行い、大阪らしい文化コンテンツを集めた屋外の舞台週間をつくり、文化・国際都市大

阪をPRする。

実施時期 7月初旬～9月初旬

支出 3,000千円

平成22年度収支予算について

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:千円)

勘定科目	平成22年度 予算額案①	平成21年度 補正予算②	増減①-②	増減比	摘 要
I 事業活動収支の部					
1.事業活動収入					
基本財産運用収入	7,300	6,400	900	114.1	
基本財産利息収入	7,300	6,400	900	114.1	基本財産運用利息
特定資産運用収入	500	600	△ 100	83.3	
特定資産利息収入	500	600	△ 100	83.3	特定資産運用利息
会費収入	66,000	73,800	△ 7,800	89.4	
法人賛助会費収入	64,500	72,190	△ 7,690	89.3	
個人賛助会費収入	1,500	1,610	△ 110	93.2	
事業収入	4,730	8,920	△ 4,190	53.0	
企画調整事業収入	150	1,020	△ 870	14.7	賛助会員交流会参加費(150)
プラント・コラホ・文化力 向上事業収入	4,580	7,900	△ 3,320	58.0	21世紀の懐徳堂(480) 関空映像(1,600) 関西・大阪文化力会議(2,500)
協賛金収入	4,000	10,301	△ 6,301	38.8	パナー掲揚協賛(2,000) 水上パレード協賛(2,000)
補助金等収入	0	0	0	—	
雑収入	100	2,939	△ 2,839	3.4	利息収入
事業活動収入計	82,630	102,960	△ 20,330	80.3	
2.事業活動支出					
事業費支出	73,956	198,740	△ 124,784	37.2	
企画調整事業支出	5,739	21,571	△ 15,832	26.6	事業費(4,752) 共通費(987)
プラント・コラホ・文化力 向上事業支出	68,217	177,169	△ 108,952	38.5	事業費(57,358) 共通費(7,143) 人件費(3,716)
管理費支出	21,462	62,954	△ 41,492	34.1	
管理費支出	21,462	62,954	△ 41,492	34.1	事業費(6,361) 共通費(4,400) 人件費(10,701(役員 6,985 有期 3,716))
事業活動支出計	95,418	261,694	△ 166,276	36.5	
事業活動収支差額	△ 12,788	△ 158,734	145,946	—	

勘定科目	平成22年度 予算額案①	平成21年度 補正予算②	増減①-②	増減比	摘 要
Ⅱ 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
特定資産取崩収入	0	347,093	△ 347,093	—	
財務安定積立資産 取崩収入	0	140,347	△ 140,347	—	
退職給与引当資産 取崩収入	0	41,746	△ 41,746	—	
行催事積立資産 取崩収入	0	165,000	△ 165,000	—	
投資活動収入計	0	347,093	△ 347,093	—	
2. 投資活動支出					
特定資産取得支出	0	168,178	△ 168,178	—	
退職給与引当資産 取得支出	0	3,178	△ 3,178	—	
財務安定積立資産 取得支出	0	165,000	△ 165,000	—	
固定資産取得支出	0	0	0	—	
什器備品購入支出	0	0	0	—	
投資活動支出計	0	168,178	△ 168,178	—	
投資活動収支差額	0	178,915	△ 178,915	—	
Ⅲ 予備費支出	2,000	3,000	△ 1,000	66.7	
予備費支出	2,000	3,000	△ 1,000	66.7	
当期収支差額	△ 14,788	17,181	△ 31,969	—	
前期繰越収支差額	61,941	30,097	31,844	205.8	
次期繰越収支差額	47,153	47,278	△ 125	99.7	